

(2023 春旅 01)

4/7 梅田バスセンター(0850)→松山市駅着(1400)→二つの海峡(明石、鳴門)大橋を渡って→

ホテル(松山ニューグランド)⇄松山城址城の桜は葉桜状態、天守閣から一望よし
帰路、秋山兄弟記念館を覗き、大街道の「かど屋」にて鯛めしと清酒『石鎚』=二合を食す。

4/8 JR 松山駅発(0840)→伊予灘(郡中港)→上灘→長浜→大洲→八幡浜着(1200)。

八幡浜港→三崎====展望台 ⇄ 佐田岬灯台 (約 30K)

路線バス(70 分)、タクシー(¥8k)、徒歩(60 分)にて灯台迄を往復 (約四時間)

・佐田岬強風!!歩道の高低差あり、往復 70 分弱を要した。

そんなこともあり、バス(1530)に間に合わず

・タクシーにて路線バスを追いかける(1530~1532)・信号待ちで飛び乗り

(・三崎で次のバスは二時間待ち・運転手さんの機転に関心、感謝 !!)

お陰で、念願の佐田岬半島と灯台を踏破できた。

・八幡浜市街と港を散策(1630~1830)地形・地理が良く分かった!!

・街は、コロナ禍、伊方原発の影響か・活気が感じられなかった。

4/9 八幡浜港(1015)~別府(1305) -宇和島フェリー-にて約 3.0h・

JR 別府駅(1400)→杵築駅(1430)。

・国東半島の観光(石仏等)を願ったが、交通の便悪し・断念

(今川君の事俣ぶ、)、杵築の観光なし、駅周辺を散策休憩する・

・杵築(1530)~宇佐(1600)

宇佐神宮参拝(約 60 分)

駅と神宮へはタクシーにて往復(バスの便少なし)

JR 日豊本線・宇佐駅(1734)-----杵築-亀川-別府着(1830)

改めて、駅前のホテル(別府ステーションホテル)にチェックイン(1900 頃)

・夜食はホテル真横の居酒屋「炭旬」にて飲食する。

フランス人(パタゴニア出身)と臨席、意気投合し、私をご馳走した

(何故か、ホテルで大分割のクーポン券(¥2000)を貰っていたので、それも利用して県の観光促進に貢献した ??)。

4/10 乗り鉄の日(久大本線と篠栗線)

別府→大分(60 分の時間待ち時間を利用して駅前を探索)

流石に大分県の府である!!

・大分→湯布院→豊後森→日田→吉井→田主丸→久留米・(久大本線)踏破
途中、湯布院下車

駅前観光客多し、それを避けてロッカーに大きな荷物を
預けて、（電動貸自転車にて市街を周遊）
晴天に由布岳が映えていた、””

同期の西野君の事を思った(彼は此処の出身と聞いている・・・)
湯布院から、豊後森駅、日田駅にて下車(特急待ち、乗り換えで、駅を出なくても
もその地を踏んでいる感があり、鈍行列車は好きである・・・(大津のOさんの気
持ちが分かる・・・
久留米で下車することなく鳥栖、大宰府経由して博多に着いた(1730、頃)。

博多駅 8 番線から篠栗線(福北線)を長者ヶ原、篠栗、筑前山手、桂川を経て、
新飯塚着(1800 頃)。

これで、篠栗線と篠栗駅の位置を確認できた。
電車の中で、今夜の宿が飯塚か、新飯塚か迷っていると、隣の紳士が「そこは新
飯塚が近いですよ」と親切に教えてくれた。
また、駅のコンビニで新飯塚ステーションホテルの場所を聞いたところ、若い店
員は親身に探してくれたが、方向が分からず、タクシーに乗ろうとしていると、コ
ンビニで、横にいて私の心配を気にしていたと思われる婦人が、「私についてら
っしゃい、一階がパン屋でよく行きますので・・・」とホテルの見える所迄案内してく
れた。
何か、この辺りの人は皆さん親切である。・・・この地のボタ山が無くなり、遠賀川
は清流を取り戻し、市役所やホテルは近代的になっているが・・・「川筋衆」と言わ
れた人情が未だ残っているので、嬉しくなった。

- 4/11 今日、今回の旅の第一目的である大恩人にお会いし広島時代に大変お世
話になった御礼を直接申し上げようと願って来た日である。
・新飯塚(1030)、桂川、篠栗駅に着いた(1100 頃)。
駅前の観光センターで松岡さんの住所を確認して、「今、篠栗駅に来ています、
ご在宅でしょうか・・・」。と突然の電話に、驚くことも無く、「すぐ主人が迎えに行
きます、駅でそのまま待っていてください・・・」と奥様の応答があり、私は駅のベ
ンチで待った(20～30 分)・・・
少しおかしい、何かあったのかなあ・・・あの松岡さんの事だから・・・もう一度携帯
で連絡してからお暇しよう・・・と諦めかけていた時に、・・・
一人の老婦人が・・・「・・・瀬並さんでしょうか・・・そうですよね・・・ああよかった!!」・・・
と 33 年振り(御主人とは・・・)の再会である・・・
この裏には、・・・とても笑い話で過ごせない、奇跡か、偶然か・・・縁の不思議があ
り・・・記述に出来ない(語られぬ、事実があった !!)

その後、再会を祝し、近くの**南蔵院**に案内、有名な食事処「**茅乃舎**」で昼食をご馳走なり、お土産を娘の分まで、こころ使いを頂いた。

改めて、ご恩法事の役目が果たせた好日の一日になった。

・篠栗、桂川、飯塚、直方、折尾、若松-**若戸大橋**-戸畑、小倉、門司港。

そこで、また、**私の癖** が出た・・新幹線で小倉から出羽、面白くない!!

門司に戻り、新門司港から **阪九フェリー** でゆっくり帰ろうと変更した。

門司駅でフェリー乗り場行きのシャトルバスに間一髪で載せて貰った(信号待ちで・・(1800)

予約なしで、なんとラッキーなことに、乗船出来た。

4/12

新門司港発(1840)---神戸六甲フェリーターミナル着(0700) 十二時間の船旅
個室シングル W(老人割適用¥9500)

バス・トイレは無し、大浴場あり、時間が有れば、船旅は良いと知る・・、

フェリー乗り場-阪急神戸線-住吉、十三、豊中、自宅着(1100 頃)

松岡さんに御礼と無事着いたことを電話で報告。

くれぐれも、良い旅で、ご恩法事の一つが果たせたことは最高の喜びである。

春旅(2023001)**追伸**

九州(篠栗)の松岡宅へのご**恩法事を大目的とした**訪問旅は、

偶然も重なり、温かく、心に残る再会となった。

また、趣味的な(桜旅には遅かったが、)

(九州に海から入り、また海からでたのである・・北海道の旅に習って)

佐田岬を経てフェリーで入り、新門司港より、また海上フェリーも利用して

神戸に着いた(4/12)。**乗り鉄と船乗り**を同時に体験したのである。

快挙 !! なり 旅は 良い

=====